

利用学習計画書

平成25年4月4日

担当 第6学年 千葉 義徳

1 ねらい

- (1) 身近に残された遺跡や遺物に接することにより、旧石器時代や縄文時代の自然環境や人々の生活の様子を知る。
- (2) 石器や土器などを作る体験活動を通して、太古の人間の生活の知恵を体感し、歴史学習への興味関心を高める。

2 評価

展示資料を通して旧石器時代や縄文時代の人々の生活を理解し、当時の生活の知恵を体感する活動から、歴史に対する興味関心を高めることができたか。

3 学習活動について

社会科 単元名「縄文のむらから古墳のくにへ」の発展学習として位置付ける。

4 事前指導

- ・旧石器時代や縄文時代の人々の生活について、これまでの学習を振り返る。
- ・富沢遺跡、山田上ノ台遺跡について、概要を伝える。

5 当日の指導（活動）内容

(1) 地底の森ミュージアム

- 1) 見学学習：全体で館職員の説明を聞きながら、地下展示室の見学（一部）
学習ノートを利用して、1階展示室の班別に自主学习
- 2) 体験学習：石器づくり

(2) 縄文の森広場

- 1) 見学学習：復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学
(探検ノートを利用)
- 2) 体験学習：石アクセサリーづくり

6 当日の交通手段 貸し切りバス

7 事後指導

- ・学習ノートや体験シートを基に、学習のまとめをする。
- ・分かったことや感想を作文やレポートにまとめる。

利用学習報告書

平成25年4月19日

担当 第6学年 千葉 義徳

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年 4月15日(月) 5校時

(2) 主な内容

- ・社会科の授業で、展示学習の中で調べた事や受けた説明について確認しながら旧石器時代の学習のまとめを行う
- ・体験学習や展示学習を通して分かったことや感想を作文にキとめる。

2 送付する資料

(1) 児童生徒の学習後の感想(8点 8名分)

○私は、仙台にめずらしい遺跡があると分かって驚きました。2万年前の生き物のフンの化石、たき火後の遺跡などを自分の目で見られてとてもうれしかったです。石器作りを体験して、ちょっとだけ2万年前の仙台に行って狩りをしてみたいなあと思いました。(N子)



○ぼくが一番すごいなあと感じたのは、2万年前の木の根や幹、鹿のフン、そして昔の人が生活したあとがきれいに残っていたことです。その遺跡を見たとき、旧石器時代の人々はどのような言葉をしゃべっていたのかがとても興味深かったです。(S男)

○地底の森ミュージアムでは、石器の作り方や2万年前の地層、旧石器時代の生活について教えていただきました。石器作りでは、石器の作り方だけでなく、頁岩という宮城県ではとれない岩を山形から2週間以上かけて持ってくるということや、頁岩は叩くと本のページのように薄く割れるということが分かりました。氷河期の森では、今の仙台とは全然ちがう森の姿にびっくりしました。(R男)

○地底の森ミュージアムに行って興味深かったことが3つありました。1つ目は、遺跡はいま私たちが住んでいるところよりも5 m下にあるということです。私は当然、自分たちが住んでいる高さと一緒にだと思っていました。2つ目は、今より平均気温が7～8度低いということ。そして、夏と冬の気温の差が激しいということです。氷河期という言葉思い出しました。3つ目は、旧石器時代の人がどんな物を食べていたのかということです。木の実や野生の動物を食べていたことが分かりました。また、ウサギが旧石器時代にすでにいたこともびっくりしました。(k子)

○縄文時代は今から約4000年前だったと聞きました。ですが、現代と結びつくようなことばかりでした。家を作っていたり、穴を掘ってそこに食べ物を保管していたり、落とし穴があったり……。当時の人々はとても頭が良いと思いました。この体験を社会の歴史学習に生かしていきたいと思います。(A子)



○縄文時代にあったものが外にリアルに再現してあって、当時の暮らしが体験できました。勾玉作りの前に昔の服（予想図）を見ましたが、とてもおしゃれだと思いました。勾玉は削る作業に時間がかかりました。自分だけの勾玉を作ることができてうれしかったです。また、縄文時代の頃から落とし穴があって驚きました。(S子)

○縄文の森広場では、当時の人たちのいろいろな工夫の跡を発見しました。縄文人は穴を掘り、そこに木の実などの食物を保存していたようです。ながく保存できる食べ物を知っていたことに驚きました。また、木に穴をあける道具や、やりの先に使っていたという石器を見ましたが、当時の人々の物を作る能力に感心しました。(A子)

○勾玉作りがすごく印象に残りました。縄文時代の人でも、特別な人しか持てなかったという勾玉を作ることができてとてもうれしかったです。他にも、広場にあった家に入ったとき、中に大きなくりの木の柱があったり、石が敷きつめてあったりと今まで知らなかったことがたくさんありました。もっと縄文時代のことを調べて、歴史に詳しくなってから、もう一度この縄文の森に来てみたいです。
(H男)



(2) 教師の感想 (1点)

地底の森ミュージアムは、世界的にも稀な2万年前の森がそのまま残された貴重な遺跡です。

子どもたちは実際にその様子を目にし、そこにある当時の人々の生活の跡から様々な思いを巡らすことで、歴史学習に高い関心をもつと同時に、先人の知恵に学ぶ歴史学習の楽しさを知ることになりました。また、縄文の森では、当時の生活を偲ばせる数々の土器や復元された竪穴住居など、本物に触れたことにより、子どもたちは教室だけでは学びえない五感を通した学習を進めていました。両施設で行った、石器作りや石のアクセサリ作りの体験学習や学習ノートを活用しながら進んで疑問を解決していく展示学習は、子どもたちの知的な好奇心を刺激し、今後の歴史学習にも好影響を与えることを実感しています。次年度以降も両施設を積極的に活用して学習を進めていきたいと考えています。